

かきわぎ

vol.

48

CONTENTS

病院長 新年挨拶	2
副院長 紹介	2
総合相談・支援センター センター長 新年挨拶	2
副センター長 紹介	2
認知症疾患医療センターについて	3
手術が必要なこどものために	3
ふたり主治医制について	3
駐車場閉鎖のお知らせ	4
東京医科大学病院 市民公開講座 予定一覧	4

東京医科大学病院の理念と基本方針

理 念

人間愛と奉仕の精神に基づいて良質な医療を実践します。

基本方針

本学の校是である“正義・友愛・奉仕”を実践します。

1. 患者様を中心に信頼関係を築き、安心で開かれた医療を提供します。
2. 地域医療機関と連携して良質で高度な先進医療を提供します。
3. 人類の福祉と幸せの実現に貢献できる優れた医療人を育成します。

新春



病院長 新年挨拶



東京医科大学病院 病院長
(消化器外科・
小児外科 主任教授)
つちだ あきひこ
土田 明彦

新年を迎え、皆様には益々ご清祥のことと存じます。本年は東京医科大学創立 100 周年の記念すべき年であり、4 月には新病院棟の起工式を予定しております。現在、2019 年の開院に向けて開院準備室を設置して運用面の検討を行っておりますが、高度急性期医療や先進医療を実践するための最新の病院棟を作っております。

病院運営においては、1) 医療安全文化の構築、2) コンプライアンスの遵守、3) 医療の質・患者サービスの向上、4) 優れた人材確保と育成、5) 顔の見える医療連携の推進、6) 効率的な病院運営、7) 財政基盤の安定化を重点施策として行っております。患者さんや医療機関の皆様から選んでいただける病院作りを行っておりますので、これからもご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

副院長 紹介

医療連携担当

経営企画担当
診療部門責任者

危機管理・教育担当

多職種連携担当



はにゅう はるお
羽生 春夫

(高齢診療科 主任教授)
総合相談・支援センター
センター長



かわしま ひさし
河島 尚志

(小児科 主任教授)



みき たもつ
三木 保

(安全管理室 室長)



なかの や えみ
中野八重美

(看護部長)



総合相談・支援センター センター長 新年挨拶



(高齢診療科 主任教授、副院長)
はにゅう はるお
羽生 春夫

新年を迎え、皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。東京医科大学は本年創立 100 周年を迎え、新病院棟の建設も 2019 年の完成を目指して急ピッチで作業が進められているところでございます。

私たちは特定機能病院・地域中核病院として安心安全な医療とともに高度先進医療や急性期医療を提供しておりますが、地域医療機関の皆様との緊密な連携を推進してまいりたいと考えております。具体的には、医療連携に関する研究会や意見交換ができる場を積極的に開催し、顔の見える連携を構築して参ります。また、地域の先生方とは「ふたり主治医制」を通して病診連携、病病連携をさらに深め、大学病院としての役割、責任を果たし、効率的な紹介、逆紹介をさらに高めるべく努力して参ります。

今後の超高齢者の急増や疾病構造の変化がもたらす医療の変化に対応していくためにも、皆様方との医療連携は必要不可欠なものと考えておりますので、これまで以上のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

副センター長 紹介



さくらい ひろぶみ
櫻井 博文

(高齢診療科 教授)



うらまつ まさし
浦松 雅史

(安全管理室 副室長)



つげはら ひろみ
告原 博美

(看護師長)



ふじひら てるあき
藤平 輝明

(ソーシャルワーカー)

認知症疾患医療センターについて

我が国における認知症の人は約462万人と推定され、その予備群の人もほぼ同数と考えられ、今後急速な高齢化の進展に伴い、認知症高齢者の急増が予想されます。

2015年9月より、当院は認知症疾患医療センターとして東京都から指定されました。今後は、地域の医療機関（かかりつけ医、病院）、地域包括支援センター、行政などとの連携を緊密にし、認知症の医療支援体制の構築をより一層推進して参ります。

当センターの認知症専門医（高齢診療科、メンタルヘルス科、神経内科医師）が認知症の早期診断と鑑別、認知症の人の身体症状・周辺症状への対応、介護者への指導、地域での病診連携や研修会、住民への啓発活動などに取り組んで参ります。

総合相談・支援センター内に認知症に関する相談窓口として、専従のソーシャルワーカー1名と専任の保健師1名を配置しました。患者さんや医療機関の皆様の相談に迅速に対応するよう努めて参ります。今後ともご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

センター長	はにゅう 羽生	はるお 春夫（高齢診療科 主任教授）
副センター長	いのうえ 井上	たけし 猛（メンタルヘルス科 主任教授）
副センター長	さくらい 櫻井	ひろぶみ 博文（高齢診療科 教授）

手術が必要なこどものために



はやし ゆたか
講師 林 豊
消化器外科・小児外科

こどもの手術が必要な疾患に対して治療を行うのが小児外科の役割です。当科では鼠径ヘルニア（脱腸）・陰嚢水腫、停留精巣、臍ヘルニアをはじめとする日常よくみられる疾患はもちろんのこと、極低出生体重児を含む新生児疾患（鎖肛、腸閉鎖など）、頭頸部疾患（正中頸嚢胞、側頸瘻など）、消化管疾患（便秘、急性虫垂炎、ヒルシュスプルング病など）のみならず、特に小児の泌尿生殖器疾患（膀胱尿管逆流症、水腎症、尿道下裂、夜尿症など）を専門に治療しております。また大学病院の特色を活かして、術前術後の管理を小児科医師とともにに行い、かつ、より専門性の高い疾患については成人領域の専門科とも共同で治療に当たっております。

外来診療は主に月・火・金曜日午後と土曜日午前（第2・4土曜日を除く）となっておりますが、それ以外でも緊急性の有無に関わらず診療しております。また、積極的にご相談なども承るようにしております。何かご不明な点などございましたらお気軽にご連絡ください。

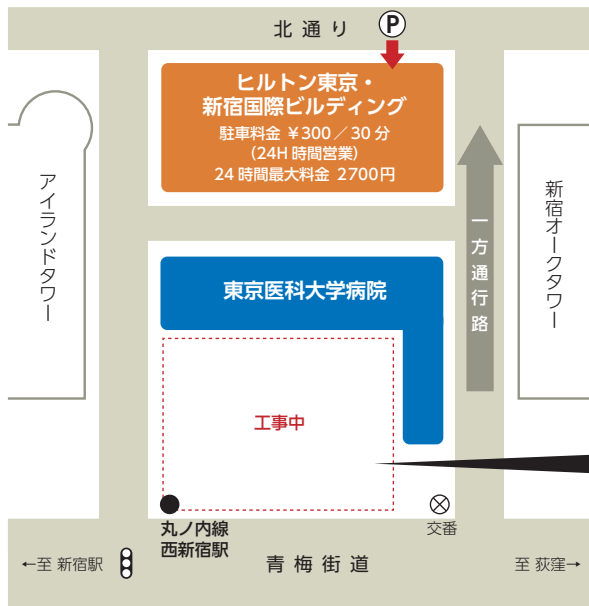
ふたり主治医制について

当院では「ふたり主治医制」を積極的に推進しております。「かかりつけ医」と「大学病院」が役割分担を明確にし、協力し合って、質の高い医療を提供していきたいと考えておりますので、これからご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

※当院内にてリーフレットを配布しております。また、ホームページでもご覧いただけます。



敷地内駐車場の閉鎖について

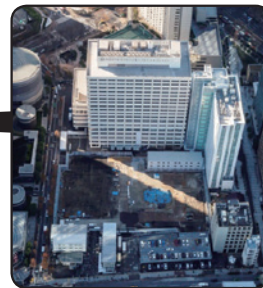


駐車場・駐輪場ご利用の皆さまへ

東京医科大学病院では新病院建設工事に伴い、平成 27 年 12 月 29 日をもちまして駐車場を閉鎖いたしました。また、駐輪スペースも著しく減少しております。

ご来院の際は公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。お車でご来院の際は、近隣施設の駐車場等をご利用ください。

※当院による駐車料金割引制度はございませんのでご了承ください。（駐車料金等は平成 28 年 1 月現在のものです）



ご来院の皆さまには、長期間に渡りご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2016 年（平成 28 年）東京医科大学病院 市民公開講座

- 通常は 17：00 開場 17：30 開演 18：30 終了予定（質疑応答 10 分含む）
- 二部制の場合は 16：30 開場 17：00 開演 18：40 頃終了予定（質疑応答 10 分含む）
（第一部 17：00 ～ 第二部 17：45 頃～ 各 45 分目安）

開催月日	科	講 師	講演テーマ
2 月 19 日（金）	消化器外科・小児外科	勝又 健次 教授	第一部『食の変化と消化管疾患』
		永川 裕一 講師	第二部『膵臓がん治療の最前線 －専門チームで難治がんにも挑む－』
3 月 30 日（水）	泌尿器科	大堀 理 教授	早期前立腺がんの診断と治療
4 月 15 日（金）	メンタルヘルス科	井上 猛 主任教授	第一部『うつ病：わかっていること わかっていないこと』
	高齢診療科	櫻井 博文 教授	第二部『認知症を予防する生活習慣』

* 講師及び講演テーマにつきましては変更される事もございますので予めご了承ください。

お知らせ

4 月 16 日（土）は大学創立記念日 4 月 13 日の代替日より休診となります。

連携担当からのお願い

- ① 患者さんをご紹介いただく際に「お薬手帳」をお持ちの方には来院時にご持参いただくようにご案内をお願い申し上げます。
- ② 来院日未定や予約のない患者さんのご紹介 FAX はお送りいただく必要はございません。

ご協力をお願い申し上げます。



東京医科大学病院 総合相談・支援センター 東京都新宿区西新宿 6 丁目 7 番 1 号 TEL 03-3342-6111（代表）
http://hospinfo.tokyo-med.ac.jp/ 発行責任者 羽生 春夫

UD FONT より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。